

ホームカミングパーティのお知らせ

今年も大学祭開催期間中に、同窓会ホームカミングパーティを開催します。鈴鹿医療科学大学卒業生のみなさんが対象です。

ビンゴ大会をはじめ、お子様にも遊んでいただけるワナゲ大会などさまざまなイベントを用意しており毎年好評をいただいています。ホームカミング会場で同窓生と思いい出話に花を咲かせてみませんか？

ぜひ皆様、ご家族、お友達をお誘いあわせのうえ、お気軽にご参加ください！お待ちしております。

■日時：2015年11月14日(土) 13:00～15:00(予定)

■場所：鈴鹿医療科学大学 千代崎キャンパス B講義棟ラウンジ

■会費：無料

卒業生 ホームカミング パーティ 開催報告

鈴鹿医療科学大学同窓会事務局 武藤裕衣



2014年11月8日(土)に、毎年恒例のホームカミングパーティを開催しました。13:00よりB講義棟ラウンジにて、卒業生とご家族、大学教職員の皆様合計58人にご参加いただき、大変盛り上がりました。

パーティでは、毎年恒例の卒業生ビンゴ大会、コードモビンゴ大会をはじめ、参加者全員が参加できるワナゲ大会など参加型のイベントを取り入れ、出席された卒業生とご家族皆様どうしの交流を深めることができました。

今年度も、ホームカミングパーティを開催しますので、ぜひ多くの卒業生にご参加いただき、交流を深めていただきたいと思います。

第25回碧鈴祭のご案内

●日時：2015年11月14日(土)～15日(日)
両日とも10:00～16:00

●場所：鈴鹿医療科学大学
千代崎キャンパス

●イベント紹介(予定)
学科発表
模擬店
学生企画イベント
ゲストライブ 他



●今年のテーマ

「25周年を彩る碧鈴祭へようこそ」
～きみがこやんとはじまらへん～

今年の碧鈴祭は25回目という節目を迎えます。今までの伝統を受け継ぎつつこれからも続いていく大学祭の華々しい一歩となるような新しい大学祭を創りたいと考えています。

創立25周年記念行事について

前号でお知らせさせていただきました「鈴鹿医療科学大学創立25周年記念行事」ですが、来年1月以降の計画は次のとおりです。現在、記念行事実施プロジェクトにおいて着々と準備を進めています。

平成28年

- | | |
|----------|--------------------------|
| 3月 記念座談会 | 7月 記念演奏会(一般公開) |
| 3月 記念植樹 | 5月～11月 記念講演会(一般公開…12回実施) |
| 5月 記念式典 | 5月～9月 千代崎キャンパス中庭を |
| 5月 記念誌発行 | 憩いの場として整備 |



創立25周年記念ロゴマーク

また、本年4月から5月に本学学生及び教職員から募集しました「記念ロゴマーク」が、7月に決定しましたのでここに紹介いたします。

SUMS NEWS 大学紹介

「医療人底力教育の紹介と1年目の医療人底力教育を振り返って」

本学では平成26年度新入生から新しく「医療人底力教育」を開始しました。

3年にわたる周到な準備の後、開学以来の一大教育改革を実現することができました。1年生を全員白子キャンパスに集め、学科の垣根を取り払った全学科混成のクラス編成とし、多くの学科の学生が共に学ぶ教育を実施します。そのための教育拠点として、白子キャンパスの3号館を改修し語学や教養科目の授業の場とすると共に、6号館を新築し大教室を整備しました。

「医療人底力教育」とはどのような教育でしょうか。一口で言えば、医療人(福祉人を含む)に共通して求められる基盤的な技能・知識・資質の教育です。各学科専門科目の教育だけでは培うことのできない全人教育とも言えます。社会が医療人に求めることは、専門にかかわる確かな知識と技術であり、加えてしっかりした倫理観を持ち思いやりの心に満ち、医療が誰のためのものかを身をもって理解したプロフェッショナルではないでしょうか。

この教育を実現するための新しいカリキュラムとして、「いのちと医療の倫理学」、「医学を学ぶための基礎知識」、「社会の中の人と医療」、それに「チーム医療I」と名づけた医療人基礎知識科目を編成しました。また、「医療人底力実践」科目は救急救命や介護などの体験学習と様々な課題にチームで取り組み考え討論し発表し合うアクティブラーニング科目を企画しました。これらの科目の学習を通して医療人に必要な知識や技術を学びつつ、今の学生に望む(4つの力:考える力、感じる力、前に踏み出す力、コミュニケーションの力)を身につけさせる教育を目指します。

更には各自の将来のキャリアを見据え職業観を確立しモチベーションを高めるための教育「キャリアプランニング」も配しました。こうした教育を大学入学直後のナイーブな学生を対象に行うこと、「実践」科目群の教育には若手教員と共に若手事務職員が加わり一緒になって教育に当たること、また一部クウォーター制(4学期制)を導入したこと、などが大きな特徴です。また教育効果を高めるために独自の教科書「医療人の基礎

知識」と「医療人の底力実践」も作成しました。

昨年4月(平成26年度)から始まった「医療人底力教育」は、「アカデミックフェア」の開催をもって1年次のスケジュールをすべて終えました。

底力教育の目玉科目である「医療人底力実践」では、1年生の全学生を学科混成の12クラスに分け、更に6-7人のチームに編成して、「新聞記事の中の社会問題」や「学内や地域の身近な問題」についてチーム毎に自ら課題を見つけ議論してまとめたり、解決策を提案したりという授業を数回にわたり行いました。課題探求能力・課題解決能力や自発的な行動力の涵養を目的としたものです。「アカデミックフェア」はこれらの授業の中で行ったチーム活動の成果を発表する会として企画されました。学生たちはチーム毎にその成果をポスターにまとめて発表し、また数チームが選ばれて口頭での発表が行われました。この「アカデミックフェア」は、公開で行われ学内教職員のほか学外の参加者もあり、会場は人で溢れていました。ポスター発表や口頭発表はどれもなかなかの力作ぞろいで、活発な討論がなされました。

この会は学生のクラス委員が自主的に企画運営に当たり実施されたものです。発表内容や会の企画運営ぶりについても、日ごろ学生達の頼りなさを感じていた教員も、その活躍ぶり成長ぶりに目を見張るところとなりました。

参加者による投票で順位を決め上位チームは藤原底力教育センター長から表彰されました。発表会の後学生同士・学生と教職員間の交歓会が行われました。学生達も大勢参加し大変にぎやかで和やかな会となりました。

底力教育が成功であったかどうかを問うのはまだ早いと思います。しかし少なくとも、学生の満足度に関する事後アンケートによれば学生にはおおむね好感を持って迎えられています。とりわけ底力実践科目の中の「救急救命」や「介護」など学生自身が身体を使う実技授業は好評でした。「医療人底力教育」は決して完成されたものではありません。これからも改善を図りより完成度の高い本学独自の特色ある教育として確立させていきたいと思ひます。(大学HPより引用紹介)

放射線技術科学科 川野 誠

同窓会の皆様、初めまして。放射線技術科学科の特任教授として着任した川野と申します。

名古屋大学医学部附属診療放射線技師学校を卒業し、名古屋市立大学病院へ就職し、昨年3月定年を迎え1年の再任用の後、今年4月から本校にお世話になりました。名古屋市には途中、守山市民病院での7年間を含め計40年の間、勤め名古屋市立大学病院では7年間の技師長の職務を経験させていただきました。技師長として職務の遂行はもちろんのこと人材育成・医療安全に邁進してまいりました。また、在職中に名古屋工業大学・名古屋市立大学大学院を終え、自身の学力の向上にも努めてまいりました。

これまで臨床実習の学生さんの指導はしてきましたが、教育現場は初めてです。長い臨床経験で培った技術を学生の皆様に少しでもお伝えし、さらに「生涯勉強」することの楽しさをわかって頂ければと思っています。鈴鹿医療科学大学のために全力を尽くす所存ですので今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。



放射線技術科学科 中舎 幸司



本年4月より、保健衛生学部放射線技術科学科の助教に着任しました中舎幸司と申します。私はこの鈴鹿医療科学大学11期卒業生であります。現在の大学ですが私の学生時と環境がほとんど同じであり、この慣れ親しんだ母校に帰ってくる事ができうれしく思っております。

私は以前に大阪にある国立循環器病研究センターにて診療放射線技師として勤務していました。そこでは病院名通り循環器疾患に携わる仕事をしており、特に核医学検査に従事していました。SPECTやPETはもちろん、アンギオやMR、CT、3D解析処理、また放射線管理業務なども行っておりましたので、そこでの臨床経験を活かし教育・研究に励んでいきたいと思っております。

最後に、今までの臨床現場とは違いこれからは医療人教育者として教壇に立ち、学生たちに学生生活を悔いなく学べるよう教育したいと思っております。私もまだまだ未熟でありますので今後とも皆様方のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



放射線技術科学科動向

平成27年度「臨床実習報告会」を開催しました

武藤 裕衣

平成27年9月3日に、十数年ぶりとなる「臨床実習報告会」をJART記念館大講義室で開催しました。放射線技術科学科では、開学以来4年生次に臨床実習を実施しています。当初は三重県内の医療機関で実施していましたが、現在では、全国の診療放射線技師の皆様のご協力ご高配により、北海道から沖縄まで、全国規模で実施しています。

臨床実習の重要性は年々高まり実習の充実化が求められている中、このたび県内臨床実習施設を対象として意見交換会を開催し、県内13施設の実習指導者責任者にご出席いただきました。私と同期の澤山君(鈴鹿回生病院)が出席してくれていて、卒業生が後輩を指導してくださっていることの喜びと有難さを感じました。現在は、臨床実習期間中に教員が施設を訪問し意見交換の機会を設けさせていただいています。皆さん、ぜひ武藤が施設に参上した際は、お声掛けいただき、お話しさせていただけると嬉しいです。

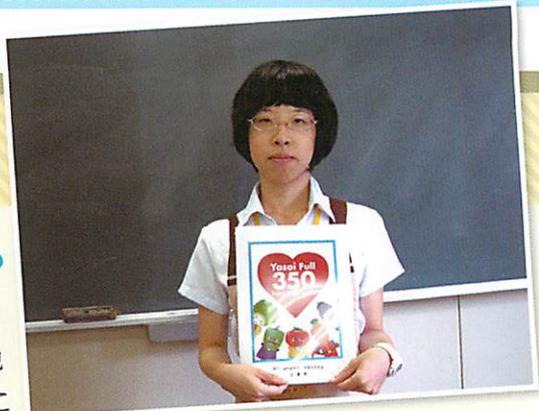
今後とも、ぜひ学生指導についてご協力ご高配のほど賜りますようお願いいたします。

医療栄養学科同窓会支部では今回、3人の卒業生の職場を覗いてみました!

三重県 尾鷲保健所 保健衛生室 健康増進課 技師
2011年卒 樋口みつき (HN08028)

仕事の内容

私は三重県で行政栄養士として働いています。主な仕事内容は、健康を守る地域人材の育成と給食施設指導です。人材育成では、地域のイベントに参加して野菜摂取の重要性や栄養の大切さを伝えることや、地域のキーパーソンとなる方への講習などを行っています。給食施設指導では、給食を提供している施設に立ち入って給食の状況の確認等を行っています。



行政栄養士は、地域の色々な方に対して、生活習慣病の予防・改善などに関わることができ、大変やりがいを感じています。まだまだ未熟ですが、日々精進し少しでも地域にお役に立てるようになりたいと思います。

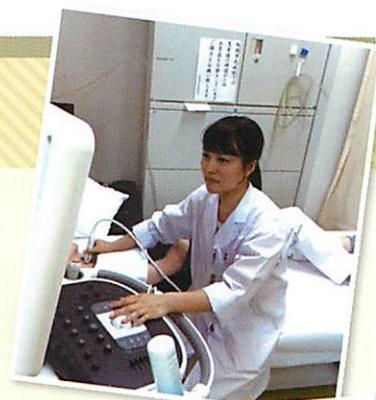


松阪市民病院 中央検査室
2015年度卒 天野友紀 (HN11101), 黒宮聖也 (HN11120)

仕事の内容

私は、心電図・心エコー・ABI・肺活量など生理検査をさせてもらっています。検査室で検査を行うだけでなく、病棟や救急で心電図をとりに行くなど医師や看護師等の方とも一緒に仕事をさせてもらえることはとても刺激になります。毎日いろんな病気や年齢の患者さんと接するので、検査の知識だけでなく、その患者さんに応じたコミュニケーション力も必要だということを改めて感じました。日々、患者さんと接する仕事なので学生時代の接客のアルバイトはとても役に立ったと思っています。仕事以外では上司や先輩の方と一緒にキャンプに連れて行っていただくなど、毎日充実しています。(天野友紀)

私が担当する部門は一般検査・輸血部門です。一般検査は尿、髄液、胸腹水、関節液、心嚢水などを扱っています。輸血では血液型、抗体スクリーニングを機械で調べていますが、今は全ての事を用手法でも実施出来るように指導してもらっています。まだまだ業務内容を覚える事で精一杯なのですが先輩の方々の丁寧な御指導のおかげで日々とても勉強になっています。(黒宮聖也)



第1回 医療福祉学科同窓会開催報告

平成27年2月21日(土)医療福祉学科で同窓会を開催しました。昨年までは理事も決まっていなかったこともあり、平日の夜に会議に参加できる卒業生に声がかかりました。各期1~3人の理事が集まり、会議を重ねました。

当日は1期生から7期生まで97名、先生方7名が集まりました。ホテルの会場で立食形式の会となりましたが、卒業期ごとの写真撮影、参加者全員での写真撮影、また、レクリエーションを交えたビンゴ大会など、用意したイベントを含め、大成功に終わったと感じています。夫婦、子ども連れの先輩方もおり、とても賑やかな会となりました。参加者の反応はよく、また開催してほしいとの声も聞くことができました。



大学生活が楽しかった人、そうでなかった人、また、大勢の集まりが好きな人、嫌いな人、それぞれあるかと思います。もちろん、日程等の関係もあると思います。慌ただしい日常の中で、たまには思い出に浸りながら息抜きをして、また、新たなつながりができるいい機会となっていけば嬉しいです。

5期生 森本 早起

医療福祉学科同窓生の皆さんへ

鈴鹿医療科学大学に赴任した10年前、私が専門とする「司法福祉論」に関わる科目は、社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験科目にありませんでした。2010年の第22回社会福祉士国家試験から、司法福祉領域の内容である「権利擁護と成年後見制度」「更生保護制度」という科目が置かれるようになりました。この科目では、刑務所を出てきた人の支援の課題、医療観察制度における支援の課題などが問われます。私たち医療福祉学科の中で、私の影響がいささかでもあったのか、4人の卒業生が少年院で法務教官として働いています(この事実をもって、私自身、家裁調査官から大学教員に転身してほんとうに良かったと思うのです)。さまざまな福祉の職場でソーシャルワーカーとしてご活躍の卒業生の皆様、ソーシャルワークの守備範囲の中に、罪を犯してしまった人を再び社会に戻すという仕事があることを心に留めておいてくださいね。

医療福祉学科 教授 藤原 正範

平成27年度 医療福祉学科OB・OG会理事会役員について

今年度、医療福祉学科OB・OG会の役員が改選され、以下の通りになりましたことをここにご報告させていただきます。

● 会長	縣 希輔 (1期生)	● 副会長	丹羽 香織 (2期生)
● 事務局長	小川 美香 (3期生)	● 会計監事	福田 佳奈 (3期生)
● 理事	伊藤 達也 (1期生)		大草 英一 (2期生)
	民部 雄也 (3期生)		澤 孝行 (4期生)
	勝田 貴之 (5期生)		森本 早起 (5期生)
	儀賀 菜都美 (6期生)		三村 直輝 (6期生)
	山際 千晴 (7期生)		米本 麻由佳 (7期生)
	伊藤 有希 (8期生)		前納 一輝 (8期生)

去る平成26年11月23日に鈴鹿医療科学大学 白子キャンパス4号館 SAPIOパートⅡにて約2年振りとなる鍼灸学科同窓会を開催致しました。

当日は、同窓生や在校生、教職員の方々60名が集まりました。懇親会で旧交を温めるだけでなく、今回初めて用意された薬膳料理を食べながら先輩、後輩同士で楽しく交流している姿が見られました。また、平成16年に鍼灸学科が設置され10年が経過したことから、学科の10年間の歩みについての報告や卒後の就職地域など、卒業生274名が東海圏を中心に全国の治療院等で活躍していることが報告されました。さらに、3名の同窓生(石崎 めぐみさん(4期生)、柴田 祐衣さん(4期生)、宇佐美 利雄さん(5期生))が在校生向けに講演を行い、学生時代や現状(職場や仕事内容など)についてお話してくれました。「治療院に興味を持った」、「就職活動をする際の参考になった」などの感想があり、在校生にとって貴重な機会となりました。

最後に、今回の同窓会にご参加頂いた同窓生および在校生の皆さんと教職員の方々にお礼申し上げます。



大学案内

大学院入試について

【医療科学研究科医療科学専攻修士課程・博士後期課程、薬学研究科医療薬学専攻博士課程(4年制)】

平成27年8月1日に大学院1期および秋入学(平成27年9月入学)の入試を行いました。秋入学は医療科学研究科にて昨年度から開始された制度となりますが、通常の4月入学とは異なり、半期早い9月に入学し2年後の9月に修了となります。今年度の秋入学入試は終了しましたが、今後ご活用いただければと思います。

また、大学院2期入試は平成28年3月5日に行います。『大学院学生募集要項』は本学ホームページからご請求いただけます。

本学大学院には毎年10名ほど医療従事者の方が入学されています。勤務しながら就学できるよう、授業や研究指導の配慮を行っています。さらに、本学学部卒業生の学部成績優秀者には筆記試験を免除し、また、本学卒業生は入学金を免除しています。大学院で学び、皆様方のキャリアアップにつなげていただければと思います。



東京サテライトキャンパスでの授業風景

●平成28年度入試日程(医療科学研究科・薬学研究科)

期別	出願期間	試験日	合格発表日
1期・ 秋入学	平成27年7月10日(金) ～7月21日(火)	平成27年8月1日(土) 【今年度は終了致しました】	平成27年8月7日(金)
2期	平成28年2月12日(金) ～2月22日(月)	平成28年3月5日(土)	平成28年3月12日(土)

※医療科学研究科は社会人特別選抜、東京サテライトコース(社会人診療放射線技師対象)入試があります。
※薬学研究科は一般入試のみ。薬剤師資格を取得している事が出願条件となります。秋入学制度はありません。
※詳細につきましては、本学ホームページ及び大学院募集要項をご覧ください。

資料請求・お問い合わせは

鈴鹿医療科学大学
入学課

tel. 059-383-9591 (直通)

■ <http://www.suzuka-u.ac.jp/nyushi/request>

■ E-mail nyushi@suzuka-u.ac.jp

※ 大学案内・募集要項等のご請求は、電話・メール・ホームページにて受付けております。(無料)
お気軽にお問い合わせください。

編集後記

今年は暑さの厳しい夏でした。みなさんいかがお過ごしでしょうか。大学は昨年看護学科が増え、創立当時の4学科から9学科となって創立25周年を迎えます。卒業生も6000名を超える大所帯となってきました。これからも卒業生と母校をつなぐ懸け橋として同窓会活動が続けばと思っています。